

森林組合だより

やまびこ



No.73

平成28年7月



主なもくじ

- 第51回通常総代会、提出議案、平成27年度事業活動の概況… 2
- 平成27年度事業部門別損益、損益計算書、貸借対照表… 3
- 平成28年度運営の基本方針… 4
- 森の掲示板(鼠ヶ関小学校自然教室ほか)… 5
- H28組合組織構成図、お願い、お知らせほか… 6

編集/発行

JForest 温海町森林組合

〒999-7123 鶴岡市大岩川字木揚場8

TEL (0235) 43-2313

FAX (0235) 43-2317

メールアドレス atsumisk@amber.plala.or.jp

HPアドレス: shinrin-atsumi.or.jp

第五十二回通常総代会

***役員定数の削減及び
選出規程の改正案を議決！**

本総代会が5月27日、温海温泉林業センターにおいて、総代204名の内、147名(書面議決、委任状含む)の出席を得て、鶴岡市長様をはじめご来賓多数のご臨席席の下、役員体制の改正案を含む、全8議案が満場一致で承認・可決されました。



議長に選出され議事を進行する
風分関の五十五郎伊都夫氏

提出議案

- ◆ 議案第1号 平成27年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認の件
- ◆ 議案第2号 平成28年度事業計画設定の件
- ◆ 議案第3号 平成28年度借入金最高限度額決定の件
- ◆ 議案第4号 平成28年度余裕金預け入れ先金融機関決定の件
- ◆ 議案第5号 平成28年度一組合員に対する貸付金並びに債務保証最高限度決定の件
- ◆ 議案第6号 平成28年度各種取扱手数料決定の件
- ◆ 議案第7号 平成28年度役員報酬決定の件
- ◆ 議案第8号 定款一部改正及び附属書「役員選挙規程」の廃止並びに附属書「役員選任規程」制定の件

二十七年事業活動の概況



挨拶を述べる大井組合長

国は「林業の成長産業化」を重要な政策の柱と位置づけ、木材需要の拡大・創生を図る中で、国産材の安定した需給体制の確立に向けた施策により、大型木材加工場が全国各地で新設されるなど、東北各県でも稼働を始めました。こうした動きの中、鶴岡市柳引地区に整備を進めてきた木質バイオマス発電施設が11月に完成し、翌月には本格稼働に入り、また、新庄市には県外資本による大規模な集成材工場の建設が始まり28年秋の操業を目指すなど、県内でも木材需要の拡大へと動き出し、森林資源を活用し林業・木材産業の振興を図るとして県知事が提唱する「森林（モリ）ノミクス」に拍車がかかる年となりました。

本組合は、これまでの情勢変化とこうした政策の方向から、本年度も組織体制の強化とともに、提案型集约化施業の搬出間伐を軸に木材生産量の増大を目指し、その結果、23年度に策定した系統運動「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」における組合の実績は、労働生産性の向上と生産コストの削減が進んだことで生産量の増大へとつながり、運動の終期となる本年度で目標を大きく上回りました。また、全国森林組合連合会が主催の27年度森林施業プランナー養成二次研修の東日本会場に本組合が選ばれ実施しました。こうした実績が評価され、10月に開催された第28回全国森林組合大会において、特別優良組合として林野庁長官表彰の栄を受け、創立50周年に華を添える成果となりました。

事業では、森林所有者との合意により樹立した森林経営計画は五十川・温海、鼠ヶ関、小名部・銅倉地区に546haを作成し、組合員からの再造林等の受託施業とともに、集約化による搬出間伐施業を4団地で152haを実施し、生産した間伐材は16、271㎡と前年度に続き増加しました。また、補助事業を活用し、森林境界の明確化、基幹路網の整備など、引き続き林業活動の基盤づくりに取組みました。公的機関の利用は、山形県及び鶴岡市、山形県林業公社が発注した保育等の施業52haを受注して、地域森林の整備に努めました。さらに、販売事業の取扱は、皆伐等の依頼や集約間伐での生産量の増加で、前年度の1.3倍となる21、455㎡にまで増大しました。これら主要事業等の成績から、本年度における事業総収益は3億8、394万円、事業利益が8、571万円と共により計画を大きく超えることができました。このことは、組合員の理解と協力で各事業が計画的に取組めたこと、さらに消費税増税後の消費の戻りが鈍かったことを背景に、木材や製材品の取引価格が厳しい状況に対し、生産量の増大とともに労働生産性の飛躍的な向上と生産コストのさらなる削減がそうしたマイナス因子を補う要因となり、森林所有者へ提案した利益還元を実行することができ、員内利用率は取扱高で90%と前年度の水準を維持することができました。

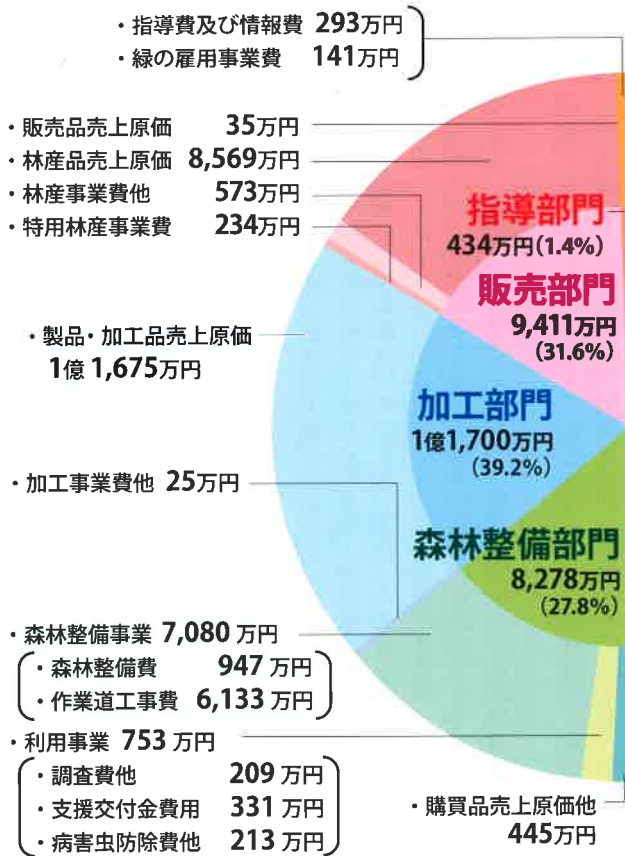
こうした結果、本年度決算は当期剰余金で2、652万円と、前年度に続き計画を上回る成績となり、組合員資本がさらに充足され、経営の健全化を高めることができました。

ここに、組合員各位をはじめ関係機関のご指導・ご鞭撻に対し衷心より感謝申し上げます。

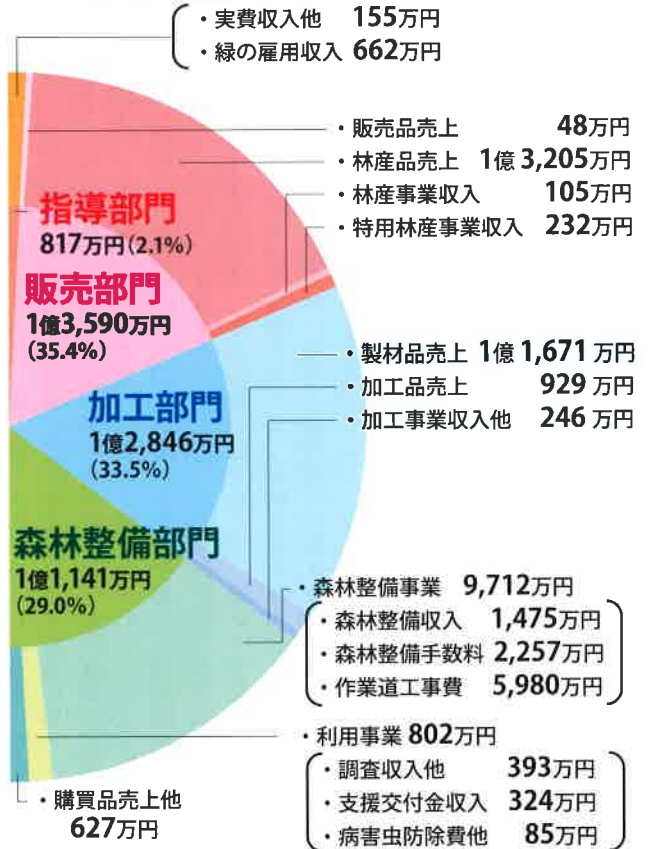


【平成27年度 事業の部門別損益】

B 事業総費用 2億 9,823万円



A 事業総収益 3億 8,394万円



貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:千円)

科目	内 訳	計	科目	内 訳	計
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
1. 現金		43	1. 買掛金		7,323
2. 預 金		154,315	2. 短期借入金		0
3. 売掛金	26,777		3. 未払金		19,296
貸倒引当金	△ 176	26,601	4. 未払法人税等		8,162
4. 未収金	39,177		5. 一般預り金		1,177
貸倒引当金	△ 216	38,961			
5. 棚卸資産		12,606	流動負債合計		35,958
6. 仮払金他		1,363			
流動資産合計		233,889	固定負債		
固定資産			1. 長期借入金		0
有形固定資産			2. 退職給付引当金		51,105
1. 建物	4,225		固定負債合計		51,105
2. 構築物	127				
3. 機械装置	20,118		負債合計		87,063
4. 車両運搬具	1,450		純資産の部		
5. 工器具備品	23		組合員資本		
6. 附属設備	597		1. 出資金		102,487
7. 一括償却資産	429		2. 利益剰余金		
8. 土地・森林	10,372		法定準備金		18,500
有形固定資産合計		37,341	任意積立金		54,000
無形固定資産 (電話加入権)		223	当期末処分剰余金		
外部出資その他資産			(1) 当期剰余金		26,521
1. 系統出資金	10,985		(2) 前期繰越剰余金		4,970
2. 系統外出資金	12,147		利益剰余金合計		103,991
3. その他資産	99		3. 資本準備金		1,143
外部出資その他資産合計		23,231	組合員資本合計		207,621
固定資産合計		60,795	純資産合計		207,621
資産合計		294,684	負債・純資産合計		294,684

損益計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

科目	計 (万円)
A 事業総収益	3 億 8,394
B 事業総費用	2 億 9,823
a 事業総利益 (A - B)	8,571
b 事業管理費	5,717
c 事業利益 (a - b)	2,854
d 事業外損益	141
e 特別損益	22
f 税引前当期利益 (c + d + e)	3,017
g 法人税、住民税額及び事業税	365
h 当期剰余金 (f - g)	2,652
i 前期繰越剰余金	497
j 当期末処分剰余金 (h + i)	3,149

平成27年度剰余金処分

摘 要	小計 (万円)	合計 (万円)
I 当期末処分剰余金		3,149
II 剰余金処分額		2,550
1. 法定準備金	550	
2. 任意積立金	2,000	
(損失補填)	(1,400)	
(事務所建設)	(500)	
(特別積立)	(100)	
III 次期繰越剰余金		599

〓二十八年度 運営の基本方針〓

＊集約搬出間伐と皆伐の一体的施業の提案及び人工林の若返りに向けた「資源の循環利用」の新たな取組み

国の公共事業予算は年々減少傾向にあり、現在の間伐補助施策も今後数年かけ減らすことが検討されています。こうした中、鶴岡バイオマス発電が本格稼働に入り、さらに、新庄市には2m原木の年間消費量12万㎡の集成材工場が年末にも稼働する計画であり、こうした県産材需要量の急増で地域間の需給ひっ迫も心配され、供給側の体制整備が喫緊の課題として、素材生産の量的拡大が求められています。また、人工林は利用期に達し増大する一方、若齢林が著しく減少していることから、国は主伐・再造林一体化とする低コスト施業への意向を示し、山形県でも造林補助金の嵩上げを決定するなど、今後は偏った林齢構成を是正し、循環利用を基本とした人工林の造成に向けた取組みが求められています。

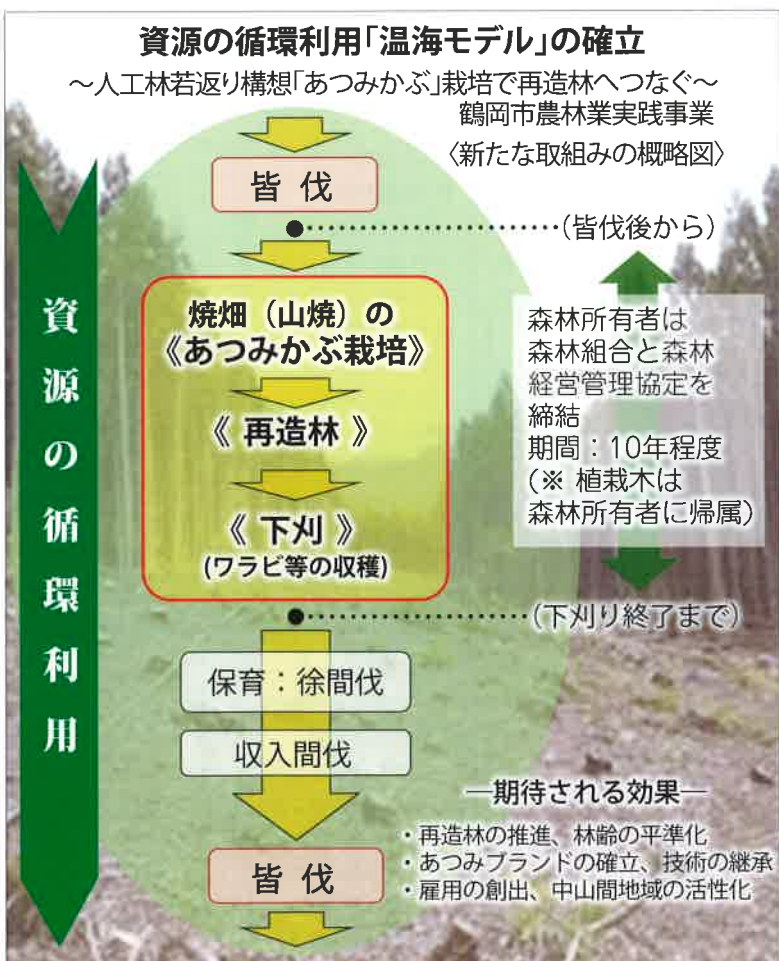
こうした情勢の中、本組合はこれまでの経営方針を踏襲し、新たな森林経営計画の樹立を図り、森林所有者との合意による集約搬出間伐施業を軸に全木搬出に取組み、生産性のさらなる向上を目指し、年間生産量2万㎡の維持を目標として、供給先との連携を密にし需給の安定化と資源のフル活用をもって、利益還元の実行を図り、合わせて鶴岡市及び林業公社が発注する地域内施業の受注により、総合的な森林整備に努めます。また、地域の要望も多く、林業活動に重要となる森林境界の明確化・基幹路網の整備についても関連予算を確保し、引き続き取組みます。さらに、検討を進めてきた人工林の若返り構想については、提案する集約化団地での搬出間伐施業とともに、林分によっては適度な皆伐施業を提案し、その伐採跡地を元来行われてきた伝統野菜「あつみかぶ」の焼畑栽培で活用して再造林に結び付け、その販売利益をもって、植林・下刈で発生する森林所有者負担を補うことで再造林を促進するため、鶴岡市が実践事業として地方創生交付金の採択を受け、本組合が実施主体となり、本年度から数年間の実践を通して資源の循環利用「温海モデル」の確立を目指します。

本年度は、新たな取組みのスタートと県内の木材需要の急増で需給変化も想定されることから関係機関と緊密に連携して事業運営にあたるなど、成長への妥協なき執着、心をもって自己研鑽に励み、開かれた明るい職場づくりに努めます。また、今期の総代会で決議された役員定数の削減及び新たな選出規程の制定により、次期役員改選に向け地域間の推薦体制の構築を図るとともに、会議室等もなく組織運営に支障をきたしている事務所問題については、次年度での増設整備を目標に理事会の中でその整備計画を協議し、建設の準備に取組みます。

資源の循環利用「温海モデル」の確立

～人工林若返り構想「あつみかぶ」栽培で再造林へつなぐ～

鶴岡市農林業実践事業
〈新たな取組みの概略図〉



—期待される効果—

- ・再造林の推進、林齢の平準化
- ・あつみブランドの確立、技術の継承
- ・雇用の創出、中山間地域の活性化

— 森林整備事業関連の主な計画 —

○ 森林情報の整備 (森林境界明確化)

事業地	整備面積	期 間
調整中	40ha	7～3月

○ 路網整備 (林業専用道相当規格)

施工場所	路線数	開設延長	期 間
菅野代水尻沢	1路線	1,540m	7～11月

○ 集約化団地 搬出間伐施業

地 区	団地場所	施業面積	期 間
山五十川	清水頭	62 ha	5～11月
小国他	髭ノ沢他	29 ha	6～10月
鼠ヶ関	横 路	80 ha	10～3月

森の掲示板

「全国豊かな海づくり大会」へ向け 鼠ヶ関小学校自然教室を開催

去る6月15日、鼠ヶ関小学校自然教室が行われました。今年9月11日「森と川から海へとつなぐ生命のリレー」をテーマとする第36回全国豊かな海づくり大会（以下、大会。）の放流行事が鼠ヶ関港で開催されることからテーマにちなんだ森林学習としました。

午前中は、5年生の11名が小名部の山林（平沢本間喜一郎さん所有林）で、間伐体験を通して森林の働きや川・海との関わりについて学びました。間伐は手鋸を使いスギの切り倒しに挑戦、奮闘の末切り倒しに成功し、その瞬間に驚きと歓声が上がっていました。



手鋸で杉の間伐に奮闘

プランター製作に悪戦苦闘

午後は当組合の製材工場に移動し、6年生16名も加わって丸太から板を造る製

材や働く林業機械を見学しました。最後に大会で使用されるあつみ杉のプランターカバ製作に挑み、今大会のキャラクター「もっけだのん」も応援に駆けつけるなど、楽しく多くを学んだ一日になったと思います。

今回、児童が切り倒した杉の木は組合の製材工場に運ばれ、加工して、大会の放流行事のためあつみ杉で製作される放流台に使用します。

「大岩川〜早田」間の沿岸路線 林道「念珠関線」整備決定！

大岩川から早田間の沿岸部は、国道7号線と並行したJR線路が大型車両の通行障害となり、成熟した豊富な森林資源の活用が困難な状態にあるため、当組合は鶴岡市や山形県との協議を踏まえ、平成27年1月に関係する自治会長と連名で鶴岡市に対し、一帯を縦断する林道「念珠関線」開設の要望書を提出しました。

その後、関係機関との協議、現地調査や座談会、自治会長との意見交換などを経て本年5月に山形県施工林道事業として林野庁より事業採択の決定がなされました。

全体計画は既存林道の併用部分の改良と合わせ総延長約10km、事業期間を10年とする計画ですが、今年度は関係する土地所有者などの合意形成を図り、林道の全体調査が実施され、また、早田地区の一部において工事に着手する予定です。

計画区域には約500haの成熟した人工林があり、その利用と森林整備が待たれ、早期完成が望まれます。当組合としまして、引き続き地元関係者と一体となって、関係機関へ働きかけながら事業の推進に努めてまいります。



「鶴岡木質バイオマス発電」 操業運転・売電スタート

（株）鶴岡バイオマス（栃木県矢板市（株）トーセン東泉清寿社長）が26年7月から鶴岡市下山添地区（旧櫛引町）の庄内南工業団地内に整備を進めてきた「木質バイオマス発電施設」が昨年11月15日に完成し火入れ式を行い、調整運転を経て12月18日から24時間稼働の本格操業を始め、売電がスタートしました。

燃料となる木材は、鶴岡市地域を中心とした間伐施業による低質材やこれまで林地に捨てられた未利用材を主燃料として、年間3万5千トンの木材を消費する計画です。また、発電施設の燃料は、同施

設に併設したトーセングループの羽越木材協同組合鶴岡工場が原木をチップに加工し供給しています。なお、当組合では27年度約7千トンの原木を供給しました。

発電規模は毎時約2千kWの能力を持ち、一般家庭消費量4千戸分に相当する発電量となります。発電した電力はFIT（再生可能エネルギー固定価格買取制度）により東北電力へ全量販売されています。

発電施設の未利用材活用は当地域の木材資源の付加価値を高め、森林整備を加速させるとともに、木材生産や輸送などの林業関連産業の振興に大きく貢献するもので、地域の活性化にも期待されています。



原木チップ加工施設



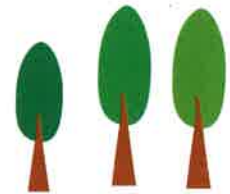
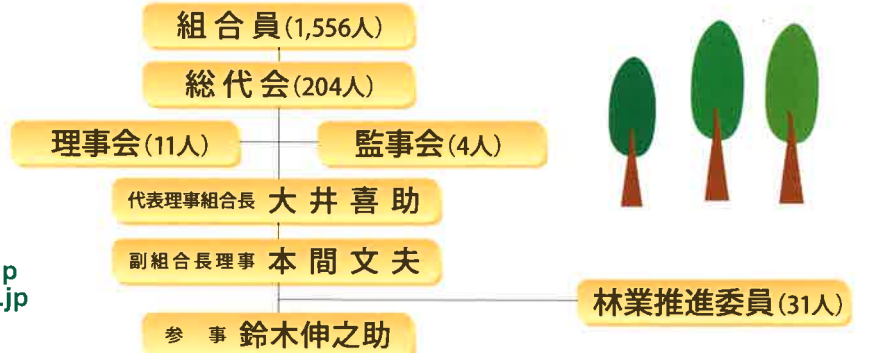
集荷された燃料用木材



発電施設（ボイラー棟）

温海町森林組合 H28 組織構成図

住所 〒999-7123
 鶴岡市大岩川字木揚場 8番地
 TEL (0235) 43-2313
 FAX (0235) 43-2317
 E-mail: atsumisk@amber.plala.or.jp
 URL http://www.shinrin-atsumi.or.jp



管理課

(兼)課長 鈴木 伸之助
 (兼)指導担当 五十嵐 雅樹
 忠 鉢 春香
 主事補(事務会計) 齋 藤 緑
 嘱託職員 加 藤 富恵

事業課

課長 五十嵐 茂一
 課長補佐 五十嵐 雅樹
 森林整備係長 劔 持喜哉
 運輸主任 野 尻 貴也
 森林整備技師 長谷川 義晃
 主事(事業担当) 忠 鉢 春香

事業班

□生産整備班 13人
 □加工班 6人
 □運輸班 1人

- ◆ 庶務、企画、会計経理
- ◆ 管理、福利厚生
- ◆ 金融業務
- ◆ 指導業務

- ◆ 林産販売事業(素材生産及び販売、特殊伐採等)
- ◆ 森林整備事業(森林整備、搬出間伐、作業道開設、病害虫防除等)
- ◆ 加工事業(ラミナ製材、製材品販売、看板・土木用資材品等の製造販売、その他木工品)
- ◆ 購買事業(苗木、林業用機材、生活物資販売、機械修理)

平成28年度 組合員研修視察 「森林ふれあい大学」のご案内

東日本大震災で、津波により甚大な被害に遭われ、その後懸命な努力で再興を果たし、地域の復興に取り組んでいる森林組合等を訪問します。

- 期 日:平成28年10月27・28日(木・金)
- 視察先:岩手県 釜石地方森林組合他
- 日程等:別紙 ご案内チラシのとおり
- 定 員:先着40名程度(大型バス1台)
- 参加費:15,000円/お1人様
- 申し込み:9月20日まで
- お問い合わせ:詳細は当組合まで



◆◆ 臨時作業員登録募集 ◆◆

期 間:8月~11月までの依頼日(実労働40日以内)
 作業種:あつみかぶ栽培、収穫までの一連作業等
 日 給:8千円(交通費は別途支給)
 ※詳細は組合までお問い合わせ下さい。

木材市況 2016.5

他県の販売価格が低下していることも影響してか、価格の下落が見られました。虫害に注意が必要な時期となっています。

県森連庄内木材流通センター

単位: m³/円

樹種	長さm	末口径級cm	高値	中値	備考
杉	4.00	36cm	12,240	11,880	△
		20cm上	11,880	11,160	△
		14~18cm	10,800	10,080	△
	3.65	20cm上	13,320	11,880	◎
		14~18cm	10,800	10,080	△
	3.00	20cm上	11,880	11,520	○
14~18cm		—	10,080	△	

※備考欄の◎高・○保合・△安は前月比

お願い

保安林伐採に必要な手続及び要件の遵守

- 伐採前
主伐:伐採許可申請(公表日(2/1, 6/1, 9/1, 12/1)から30日以内)
間伐:伐採届出(開始前の90~20日前まで)
- 伐採後
主伐:伐採終了届(伐採終了後、30日以内)
- 主伐後の造林実行
伐採後2年以内:要件違反150万円以下の罰金
※ 詳しいことは、当組合までお問い合わせください。

組合員資格等の変更届

山林の相続や売買などにより所有名義や所有面積に移動があった時は、変更手続きをお願いします。



お知らせ

役員体制の見直しに係る定款一部改正

- 役員定数の削減:理事11人・監事4名 → 理事9人・監事3人
 - 選出規程の改定:「役員選挙規程」→「役員選任規程」
- この度の第51回通常総代会において、上記改正が決議されました。次の任期満了に伴う役員改選から執行されます。

軽トラ林業

ラミナ用2m原木を現金買取り

長さ	末口径	1本単価
2m	14 cm	150 円
2m	16 cm	200 円
2m	18 cm	450 円
2m	20 cm	560 円
2m	22 cm	670 円
2m	24 cm	800 円
2m	26 cm	1,000 円



組合へ、軽トラ等で直接搬入すると現金をその場でお支払いしています。なお、左記以上の径級単価設定もあります。

- 注意・長さ 2m以上+10cmまで
- ・ 曲り 矢高5cm以内
- ・ その他 虫害、腐れ、割れなど